



巖美溪

にゅーすれたーふじやま・長泉

東北を訪ねて！

パナソニックエイジフリー介護チェーン

5月にベトナムの首都ハノイで行われた「日本語スピーチコンテスト」(富士吉原ライオンズクラブ主催)を観覧しました。私には投票権はありませんが、同行するのは2回目です。会場は優秀な学生が集まる大学で知られるハノイ貿易大学です。今回のコンテストで優勝した15人目のベトナムの将来ある人財が日本に来る(ライオンズクラブのメンバーがホスト)こととなります。今回から開催日程が変更になったこともあり、前回優勝者と2名(日本企業に就職決定)が同時に来日することになりました。

二人が我が家にやってきたのは7月8日の夜でした。(日本到着7月7日早朝)イエンさんとヴァンさんというかわいらしく、あどけなさすら残る女子大学生です。何が入っているのか?とてつもなく



重いスーツケースを持っての来日でした。その中身はほとんどがお土産でした。10日に富士市長への表敬訪問があったため9日の夜は大騒ぎでした。スーツケースから出てきたのは古いハノイの農村や町の風景を描いた陶板絵2枚。市長やライオンズクラブへのお土産を二人で選んで持参したそうです。ハノイではバッチャンという陶器の村が有名です。私も陶磁器が好きなので前々回訪れた時、ニャンさん夫婦に案内してもらいました。驚いたことにフランスのものや中国のものを作っていました。有名ブランドの商品もありました。工房では印刷ではなく、すべて手作業で絵付等も行って、私たちが訪れるとお茶をだしてくださり、温かい雰囲気でもてなしてくれたのが昨日のように思い出されます。私の娘が手伝って、陶板絵をプレゼント用にくるむ作業が始まりました。陶板絵ですからそれはそれは素晴らしく、二人はハノイの古き良き、農村の様子を語ってくれました。1週間ホストをする中で、印象に残ることをしてあげようと主人と事前に考えていたことがあります。それは私たちも行ったことのない東北被災地を訪れることでした。11日の夜10時、車で4人家を出て、一路一関へ向かいました。巖美溪～中尊寺と見て、気仙沼に着いたのはちょうど昼時でした。気仙沼は地震直後に火災が発生し、78000人のうち1356人の死者・行方不明者が出たそうです。町はかなり片付いていましたが、陸に打ち上げられた大型船を見たときには2011. 3. 11のテレビに映った光景がまざまざと蘇ってきました。復興支援室の中の飲食店でうどんを食べました。若い店主は魚の加工場で働いていたそうです。



気仙沼



南三陸町



松島温泉にて

食事を済ませ、南三陸町(志津川)へと向かいました。そこはもう瓦礫の山と言っていいのか、汽車が横倒しになっていたり、陸橋が真っ二つになっていたりする光景は何ヶ所か見ました。南三陸町17000人のうち死者・行方不明者875人、役場の職員も32人が犠牲になっているそうです。避難を呼びかける女性職員が犠牲になったことも私たちの悲しみの心に深く刻まれています。多く災害の恐ろしさを目の当たりにして改めて現在無事でいられることに感謝せざるを得ません。今後、支援できることを自分なりに考えてみようと思います。イエンさんヴァンさんはどう感じてくれたでしょうか?彼女たちのハノイの生活は車に乗ることはほとんどないため慣れるまでが大変だったようです。12日は被害の比較的少なかった松島で温泉に浸かりゆっくり休みました。松島のお湯は肌がツルツとして美肌効果抜群!初めて訪れた震災後の東北でしたが、あらためて一日も早い復興を心からお祈りしました。

渡邊啓視